

平成29年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（未修コース）玉野 真紀

10期未修の玉野真紀と申します。

私は、岡山大学法学部を卒業後、岡山大学法科大学院に入学し、2回目の受験で平成29年度の司法試験に合格しました。

私は、学部生の頃、司法試験のための勉強をあまりしていなかったため、基本から勉強したいと思い、未修者コースで入学しました。1年生のうちは、基礎知識や答案の書き方を身につけるため、授業の予習復習や基礎的な演習書の解説、参考答案を読むことに力を入れていました。2年生・3年生では、演習で扱われる問題や司法試験に近い形の演習書を解くということをしていました。その後、1回目の司法試験を受けましたが、不合格となりました。2回目の司法試験に向けての対策は、苦手科目を徹底的に勉強することでした。授業を聴講する、ゼミに参加する、答案を書くなど、苦手科目だけを約3か月間勉強し続けるというのはとても大変でした。しかし、その甲斐あって、2回目の司法試験には合格することができました。

私が司法試験に合格した今思うことは、やはり苦手科目を作らないということが重要だと思います。苦手意識をもつと勉強のやる気も失われますし、一度苦手になってしまうと、標準レベルにもっていくのはとても大変です。岡山大学法科大学院の先生方は、熱心に授業してくださるだけでなく、授業後やオフィスアワーでの質問にも丁寧に対応して下さいますし、学生主体のゼミ等も快く見てくださいます。また、学生同士も仲が良いため、先輩方に頼ること、同期と切磋琢磨することができます。このように、岡山大学法科大学院では、苦手科目を作らないようにする環境が整っていると思います。在学生の皆様には、ぜひこの環境を利用していただきたいと思います。

最後になりましたが、在学中及び修了後にご指導くださった先生方、学習環境を整えてくださった職員の皆様、支えてくれた家族や友人に厚く御礼申し上げます。